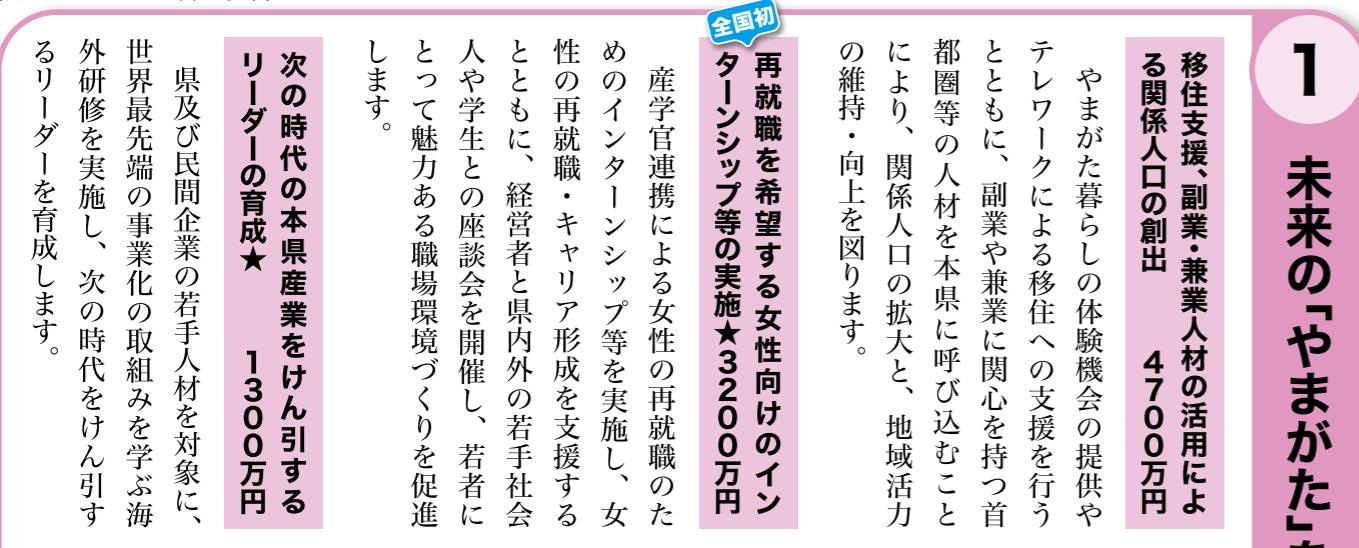


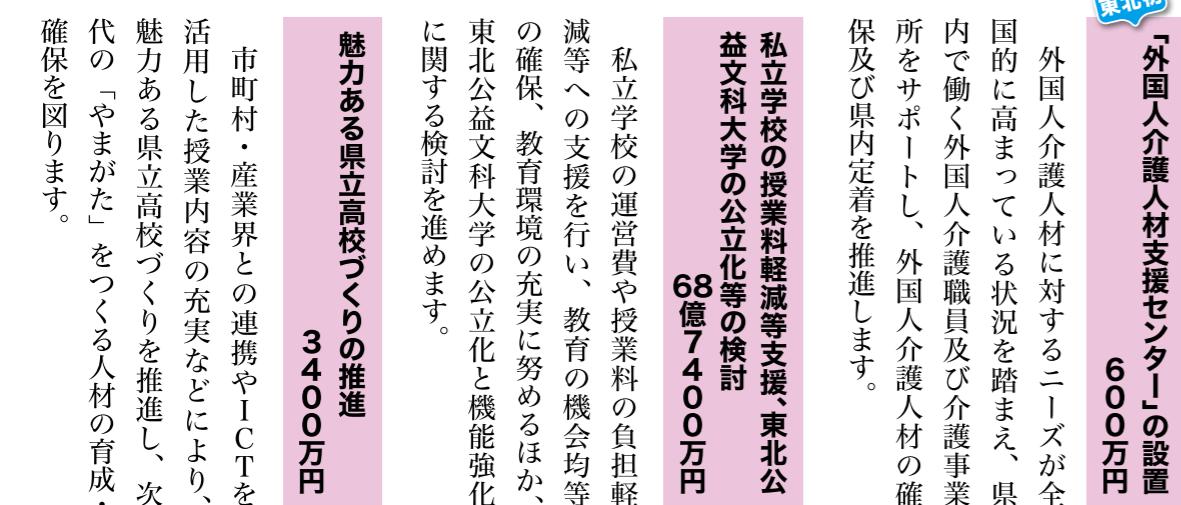
ポストコロナ・やまがた創造予算

令和5年度は、「第4次山形県総合発展計画」の基本目標である「人実現に向け、さまざまな分野でのリスクリング(学び直し)をはじめ、口ナの県づくりを推進するための予算を編成しました。

(★:リスクリングを含む事業)

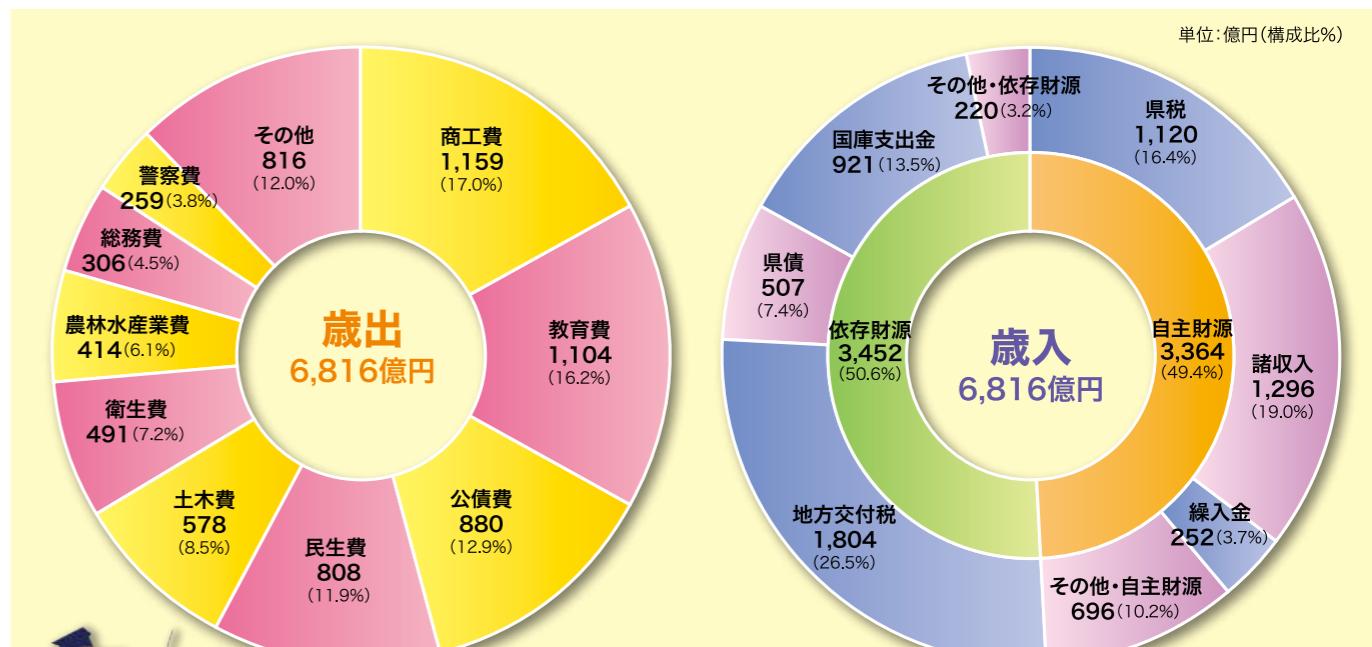


首都圏からのUターンによる新規就農



1 未来の「やまがた」をつくる人材育成・確保を推進!

と自然がいきいきと調和し、真の豊かさと幸せを実感できる山形の本県の未来をつくる「人」への投資を積極的に盛り込むなど、ポストコロナの県づくりを推進するための予算を編成しました。



注:表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

用語解説

【歳入】

- 地方交付税…自治体間の財源の不均衡を調整するために、一定のルールで国から交付されるお金
- 県債…災害対応や道路整備・学校を建てるなどの目的で県が借りるお金
- 国庫支出金…農地の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金

- 自主財源…県税など、県が自ら収入する財源
- 依存財源…国から交付されたり、割り当てられたりする財源

【歳出】

- 公債費…県債返済などに使うお金
- 民生費…生活保護などの社会保障のためのお金
- 衛生費…医療や健康増進、環境保全などのためのお金

【予算規模】
令和5年度一般会計当初予算是、総額6816億円となり、前年度比で32億円の減少となります。
自主財源のうち県税は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化を背景に、法人事業税や地方消費税が堅調に推移する見込みなどを踏まえ、全体で1120億円(前年度比0・2%増加)を見込んでいます。

依存財源のうち地方交付税は、政府の地方財政計画を踏まえ、1804億円(前年度比1・4%増加)、県債は、同計画に基づき臨時財政対策債が減少する見込みなどを踏まえ、507億円(前年度比4・8%減少)を見込んでいます。

【県債残高の見込み】
令度末の県債残高の見込みは、1兆1646億円となり、前年度当初予算と比べて、164億円の減少を見込んでいます。
また、財政健全化の目標として掲げている臨時財政対策債及び補正予算債等並びに災害復旧事業債を除いた実質的な県債残高は今年度末見込みで6511億円となり、前年度の同時期と比べて9億円の増加を見込んでいます。

【調整基金の残高】
調整基金については、今回の予算編成において、157億円を取り崩し、今年度末における残高は231億円と見込んでいます。